取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

FREED

助手席リフトアップシート車

*このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、**FREED** 助手席リフトアップシート車に
装備された専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については**FREED** 取扱説明書をご覧ください。*

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

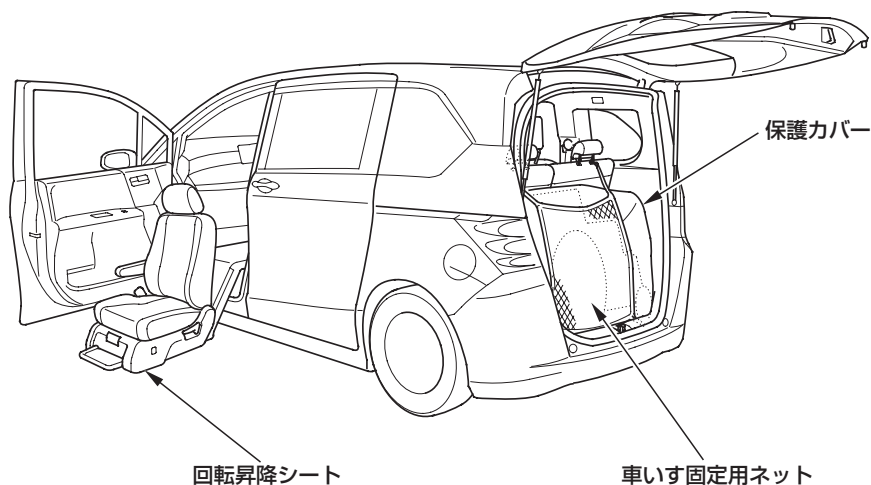
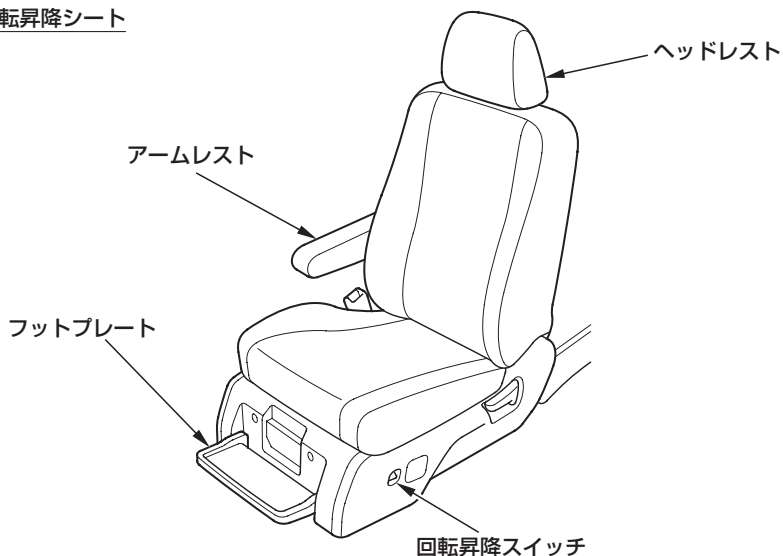
知　識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

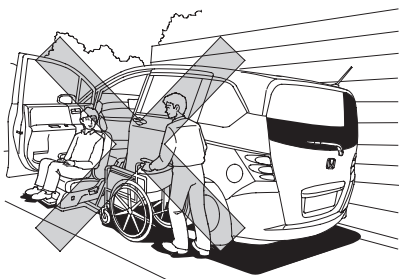
車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

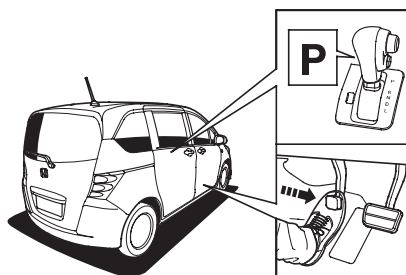
もくじ

各部の名称

保護カバー
回転昇降シート
車いす固定用ネット
回転昇降シート
ヘッドレスト
アームレスト
フットプレート
回転昇降スイッチ

安全ドライブのための必読ポイント

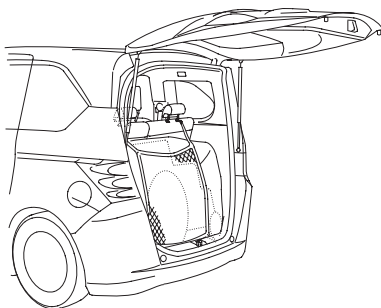
坂道での回転、昇降操作はしない。

- 回転、昇降操作は必ず平坦な場所で行ってください。
  坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬけがをすることがあります。

回転、昇降するときは。

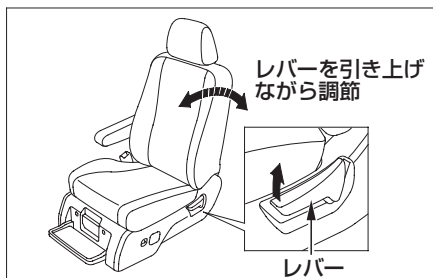
- セレクトレバーがPに入っていないと回転、昇降の操作ができません。パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れて操作してください。

回転、昇降操作は介護する人が行う。

●回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。
回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。
・シートを操作する前に、シートに座っている人の体がアームレストの外側に出ていないことを確認してください。
・後ろの席にお子さまを乗せているときは、不意の動作に注意してください。

車いすは確実に固定。

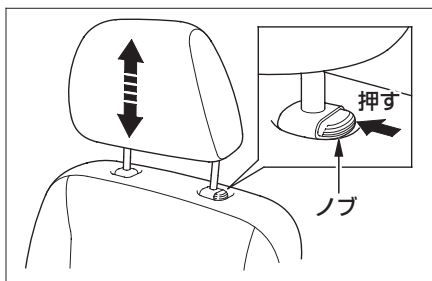
●必ず車いすのブレーキをかけてから、固定用ネットで固定してください。
走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートの調節

回転昇降シート

●背もたれの調節

●ヘッドレストの調節

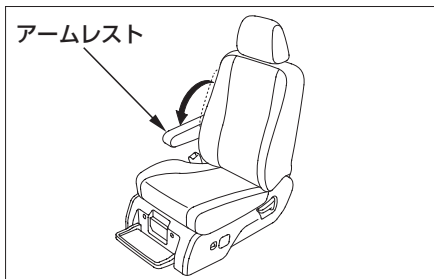
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

⚠警告

- ヘッドレストを固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト

前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、前に倒しておいてください。

⚠注意

●シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。

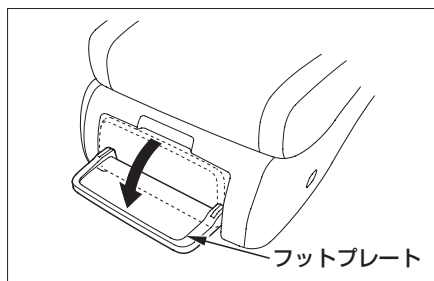
アドバイス

●アームレストに腰をかけたり荷物を載せるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

知　識

●回転、昇降中にアームレストを倒しておいても、背もたれの角度によってはアームレストが車体に接触することがありますが異常ではありません。

●フットプレート

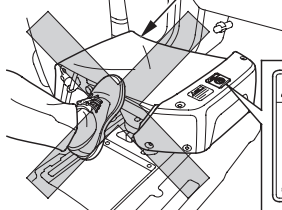
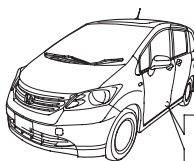
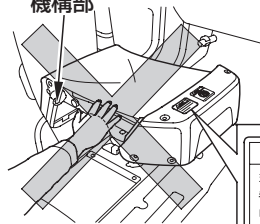
前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、介護される人の足を乗せておいてください。

アドバイス

- フットプレートが破損するおそれがありますので、次のことをお守りください。
  - ・フットプレートに必要以上に体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。
  - ・走行中にフットプレートに足を乗せていると、必要以上に体重がかかることがありますので、フットプレートは必ず収納(折りたたむ)してください。

●回転昇降シートの操作

セレクトレバーがⓅのとき回転、昇降操作ができます。

⚠警告

- 回転、昇降操作は介護する人が行ってください。シートに座っている人が操作すると、手や腕などをはさんだりぶつけたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。また、お子さまには操作させないでください。
- 回転昇降シートを操作するときは、グローブボックスを閉じ、助手席サンバイザーなどを格納してください。また、助手席ドアを全開にして、シートに座っている人の腕をアームレストの内側に入れてから操作してください。回転、昇降中に頭やひざ、つま先などがインストルメントパネルやドアなどにぶつかり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降時はリフター部に乗ったり、機構部に触ったりしないでください。手や足などをはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降操作をするときは、助手席側のセカンドシートに座らないでください。足をはさまれたり思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

●回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
・シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
・パーキングブレーキをかけてセレクトレバーを🄿に入れてください。
・シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
●介護される人が背もたれの角度やシートの前後位置を調節しているときは、ドアを閉めないでください。手をはさんでけがをするおそれがあります。

回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。このシートでチャイルドシートを使用しないでください。

知　識

- この回転昇降シートの最大回転、昇降能力は、100kgです。これを越えての回転、昇降操作は、破損の原因となります。
- 回転、昇降操作をするときは、助手席側のドアをいっぱいに開けてから行ってください。
- 回転昇降シートが走行位置（格納位置）に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。セレクトレバーを操作する前に、シートが走行位置（格納位置）に戻っていることを確認してください。

シートの降ろしかた

①シートベルトが外してあることを確認します。

②シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。

知　識

- 背もたれが倒れすぎていると、運転席やインストルメントパネルと干渉してシートの回転ができなくなります。

③アームレストを前に倒します。このとき座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。
④フットプレートを前に倒して足を乗せます。

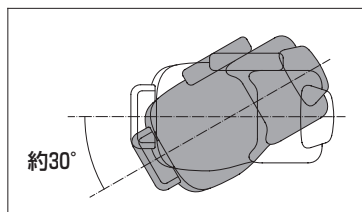
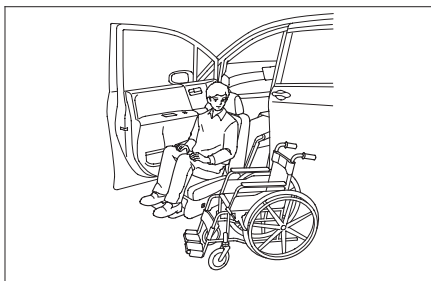
フットプレート →8ページ

⑤回転昇降スイッチを下に押し続けると"ピーッ"とブザーが鳴り、シートが回転しながら車外へスライドし、続けて下降します。
また、途中でスイッチから手を離せばその場で停止させることができます。

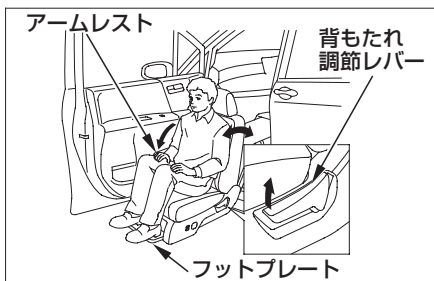
⚠注意

●シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

知 識

●シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと"ピピピッ"とブザーが鳴り続けます。

⑥車いすなどに乗り換えます。

シートの上げかた

①フットプレートを前に倒し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれなどが車体にあたらないように背もたれの角度を調節します。
車いすなどから乗り換え、アームレストを前に倒します。このときシートに座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。

知識

● 背もたれが倒れすぎていると、運転席やインストルメントパネルと干渉してシートの回転ができなくなります。

②回転昇降スイッチを上に押し続けると“ピーッ”とブザーが鳴り、シートが上昇します。
上昇が終了すると続けて車内へスライドしながら回転し、走行位置(格納位置)まで戻ります。シートが走行位置(格納位置)まで戻り、完全に停止すると“ピピッ”とブザーが鳴ります。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

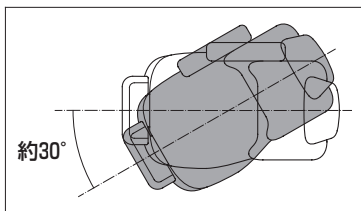
⚠注意

● シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。
● シートが走行位置(格納位置)に戻らないときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

知 識

● シートが回転を開始してから(約30°)走行位置(格納位置)に戻る直前までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。

● シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。“ピピッ”とブザーが鳴り、シートが走行位置(格納位置)に戻ったことを確認してから、セレクトレバーを操作してください。

● 故障などにより、シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。シフトロックを解除してください。

→FREED取扱説明書

車いすの収納

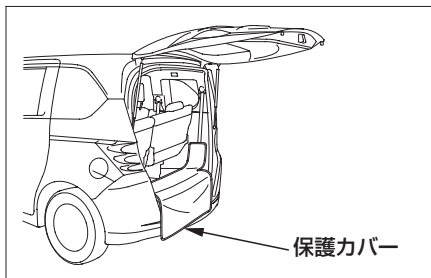
収納のしかた

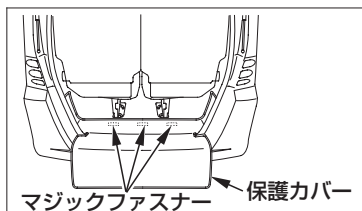
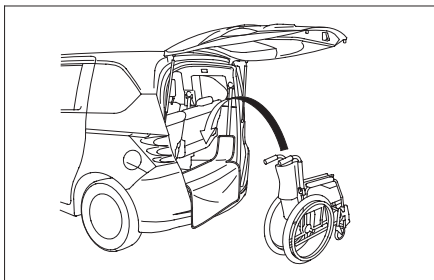
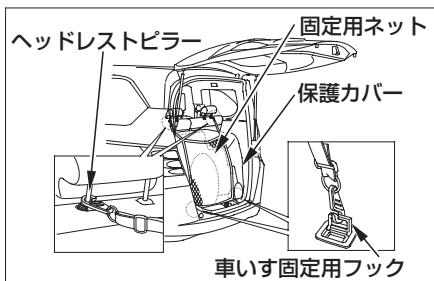
●車いすを収納するとき

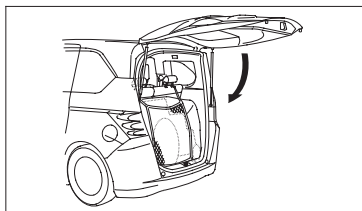
①テールゲートを開けます。

②サードシートの背もたれを一番起こした位置に調節します。

サードシート　→FREED取扱説明書

③保護カバーを引き出し、バンパーにかぶせます。

知　識

●保護カバーを取り外している場合は、マジックファスナーでフロアカーペットに固定してください。

④車いすを折りたたみ、車いすを横向きに載せます。このとき車いすのブレーキをかけてください。

⑤保護カバーを車いすにあてながら、固定用ネットのフックを車いす固定用フックとヘッドレストピラーにかけて車いすを固定します。

知　識

● 車いすがぐらついたり、固定用ネットがきついときは、固定用ネットのベルトの長さを調節してください。
● 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
● テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。
車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれると変形する可能性があります。

●車いすを車から取り出すとき

車いすを取り出すときは、収納したときの逆の手順で行います。

点検整備について

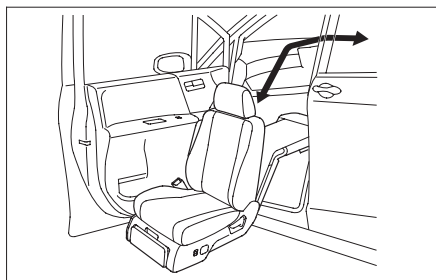
点検整備方式

点検整備項目		点検時期			交換時期(年)	備考
		日常点検	12か月ごと	24か月ごと		
回転昇降シート部	回転、昇降スピード、異音	○				
	各取付部の緩み、がた、損傷		○	○		
	ブザーの作動	○				

日常点検

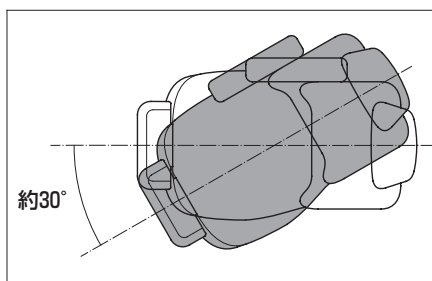
日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

●回転、昇降スピード・異音の点検

シートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。

●ブザーの作動の点検

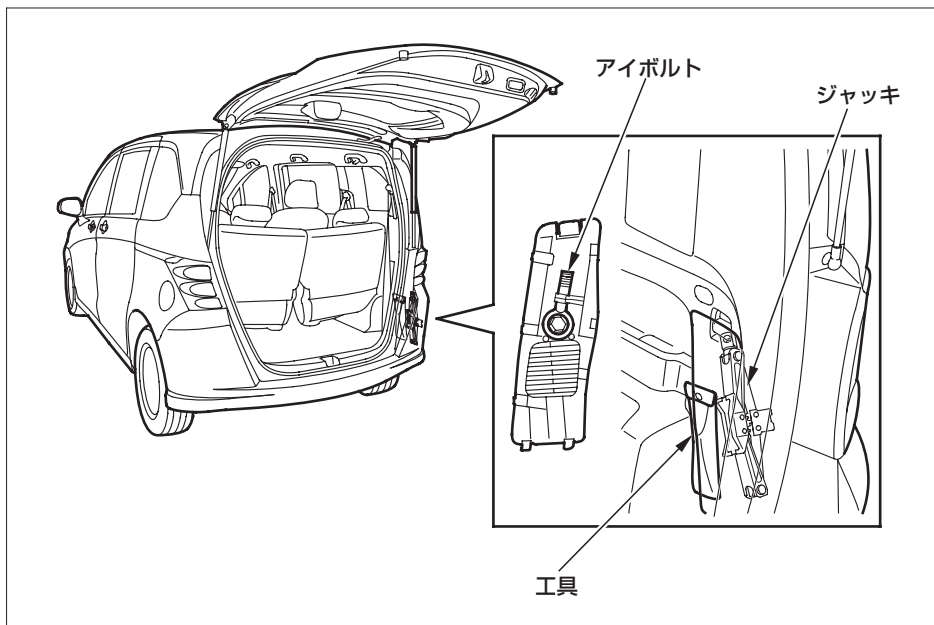
回転昇降スイッチを操作して、下記のようにブザーが鳴ることを点検します。

①回転昇降スイッチを押して、シートが作動を始めるときに“ピーッ”とブザーが鳴ること。

②シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けること。

③回転昇降スイッチを上に押して、シートが走行位置(格納位置)まで戻ったときに“ピピッ”とブザーが鳴ること。

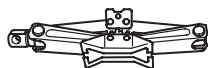
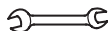
万一のとき

工具

●格納場所

アイボルト
ジャッキ
工具

●工具の取り出しかた

ノブを引きながら、リッドを外します。

工具の種類

知 識

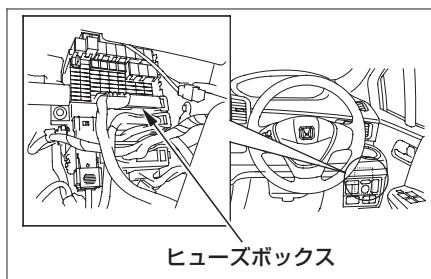
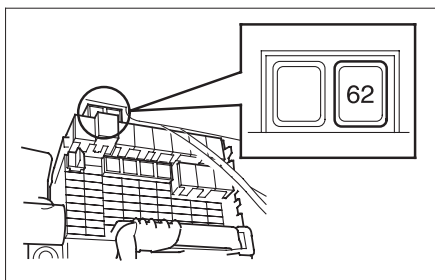
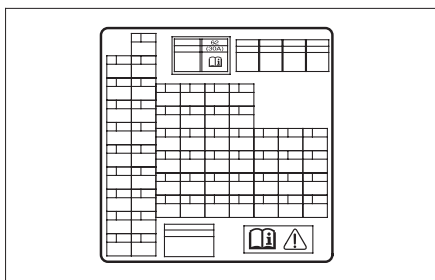
- 工具の種類、ジャッキの使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

シートが回転、昇降できないとき

シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れが考えられます。

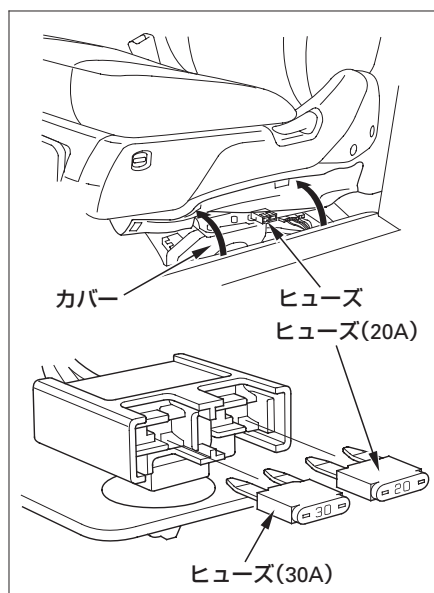
①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
②ヒューズが切れていないかを点検します。
・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示と取扱説明書で確認し、点検します。
③必要に応じて、ヒューズを交換します。

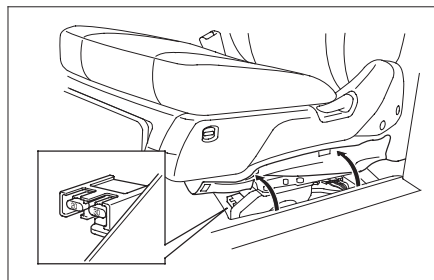
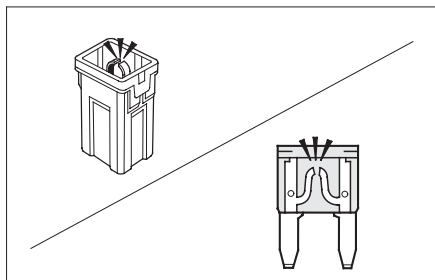
●ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス

・ヒューズの装備と容量

	表示	装　　備	容量
62	[i]	回転昇降シート	30A

室内の回転昇降シートのヒューズの位置

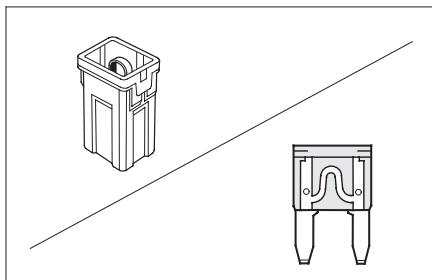
回転昇降シート左側のカバーをめくるとヒューズがあります。

ヒューズ規定容量：20A、30A

回転昇降シートのスペアヒューズはシートの左前側にあります。

ヒューズが切れているとき

表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。
  配線コードなどを焼損させる原因となります。

知　識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき

ヒューズが切れていないのにシートが回転、昇降できないときは、装置の故障が考えられます。Honda販売店へご連絡ください。

→27ページ

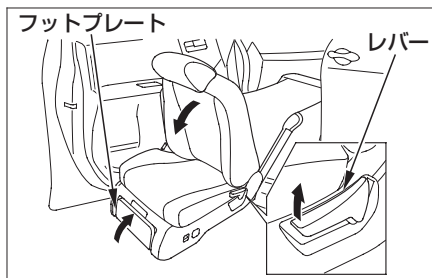
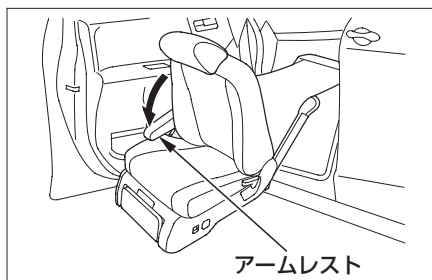
回転昇降シートが正常に作動しないとき

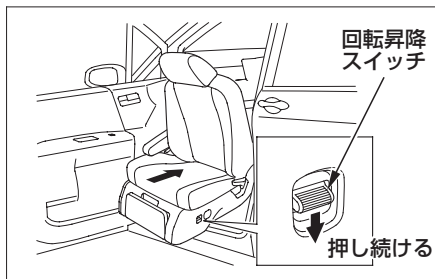
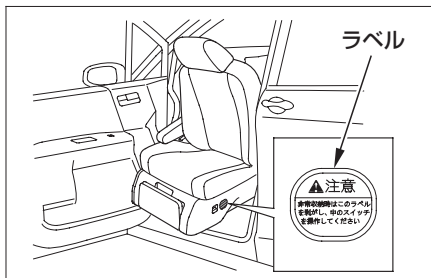
●スイッチを押すとシートが動くとき

知 識

- バッテリー交換は、シートを走行位置(格納位置)にした状態で行ってください。

シートが走行位置(格納位置)以外で、バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、通常の昇降操作ができなくなりますので、以下の手順で復帰操作を行ってください。
また、バッテリーやヒューズを交換していないのに通常の昇降操作ができなくなったときは、故障の可能性がありますので以下の手順で格納操作を行い、なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

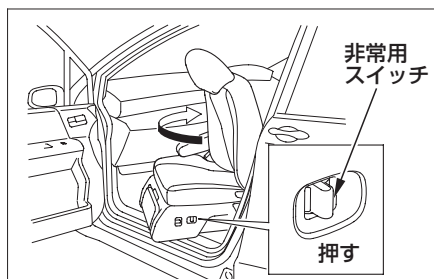
①レバーを引き上げながら、背もたれを前方いっぱいに倒します。
②フットプレートを収納します。

③アームレストを前に倒します。

④回転昇降スイッチを上に押し続けて、シートが止まるまで上昇させます。

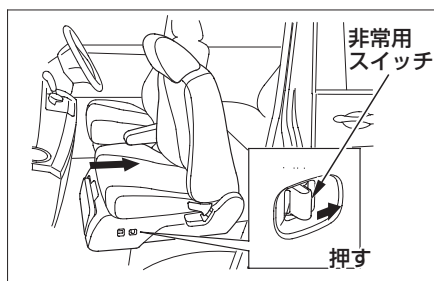
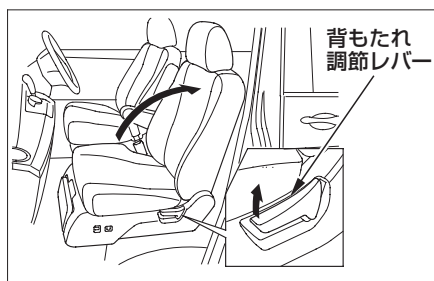
⑤回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へスライドさせます。

⑥回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがして非常用スイッチを確認します。

⑦シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、非常用スイッチで回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置（格納位置）に戻します。

知　識

- 復帰（格納）操作の途中でスイッチから手を離すと、“ピー”とブザーが鳴ります。
- シートが走行位置（格納位置）に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

回転の操作

非常用スイッチを前側に押してシートを車内側へ回転させます。

スライドの操作

非常用スイッチを後側に押してシートを後方へスライドさせます。

⑧レバーを引き上げながら、背もたれを起こします。

知　識

- 復帰操作を行った後は、回転昇降スイッチを操作して、シートが正常に作動することを確認してください。
- 復帰操作を行った後は、Honda販売店で非常用スイッチ部に新しいラベルを貼り付けてください。

⚠注意

- 復帰（格納）操作を行うときは、回転昇降シートに座らないでください。
  シートが正規の軌道を通らないため、手や足などをはさむおそれがあります。
- バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、復帰操作を行うまで回転昇降シートを使用しないでください。また、故障などにより格納操作を行ったあとはHonda販売店で点検を受けるまで回転昇降シートを使用しないでください。
  そのままで使用すると、シートが正常に作動しなかったり、思わぬけがをすることがあります。

●スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡ができない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。

⚠注意

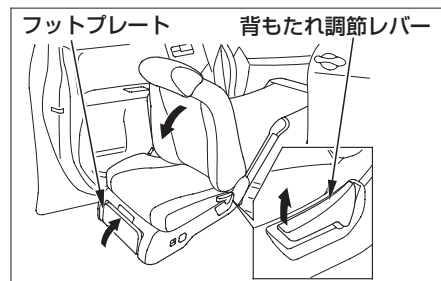
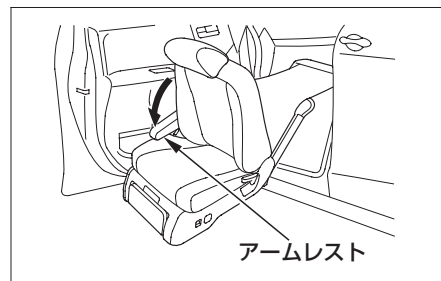
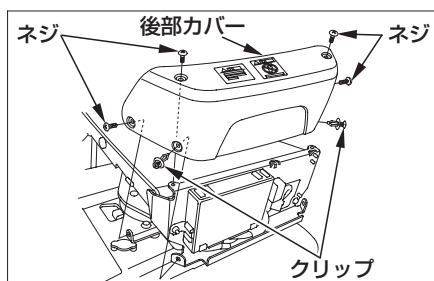
- 手動格納の作業を行うときはシートの可動部分に手をはさまないように十分注意してください。

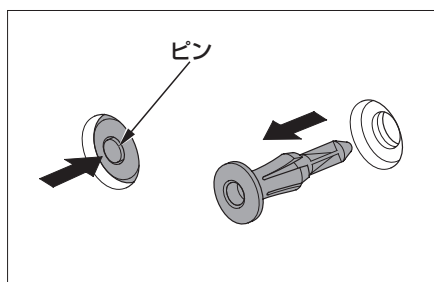
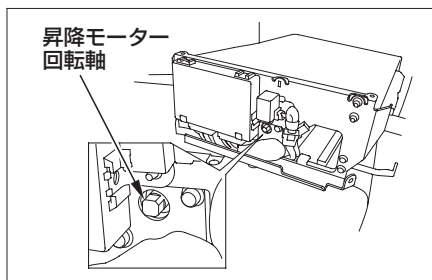
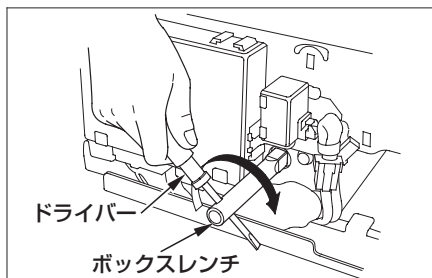
シートが昇降の途中で動かなくなったとき

①運転席足元のヒューズを外します。

ヒューズの位置　→21ページ

②レバーを引き上げながら、背もたれを前方いっぱいに倒します。

③フットプレートを収納します。

④アームレストを前に倒します。

⑤プラスドライバーでネジ(４本)とクリップ(２個)を外して、回転昇降シートの後部カバーを外します。

・**クリップ脱着の仕方**

クリップ中央部のピンを"カチッ"と音がするまで軽く(２mm程度)押し込んでクリップを引き抜きます。

⑥回転昇降シート後部にある昇降モーター回転軸の位置を確認します。

⑦ボックスレンチにドライバーを差し込み、昇降モーター回転軸が回らなくなるまで矢印の方向へ回します。

⚠注意

●ボックスレンチで昇降モーター回転軸を回すときは、レンチが回転軸から外れたり、手をはさまないように十分に注意してください。

知 識

●ボックスレンチはゆっくり回してください。

⑧運転席足元のヒューズを取り付けます。

ヒューズの位置　→21ページ

⑨回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へスライドさせます。

⑩回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがして非常用スイッチを確認します。

非常用スイッチ部のラベル
→25ページ

⑪シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、非常用スイッチで回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。

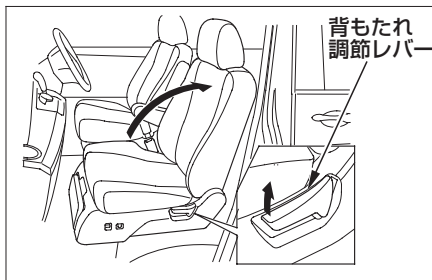
回転とスライドの操作　→26ページ

知　識

- 手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、“ピー”とブザーが鳴ります。
- シートが走行位置(格納位置)に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

⑫レバーを引き上げながら、背もたれを起こします。

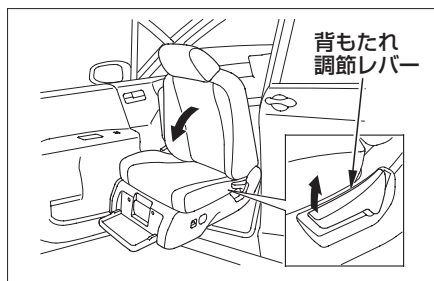
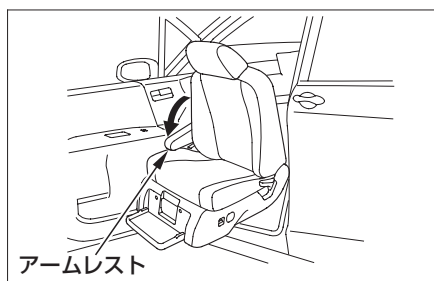
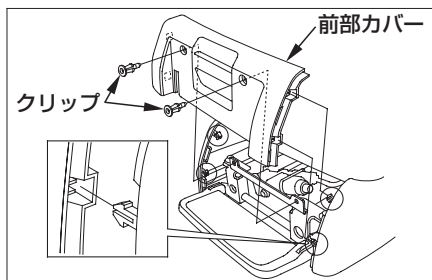
⑬なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

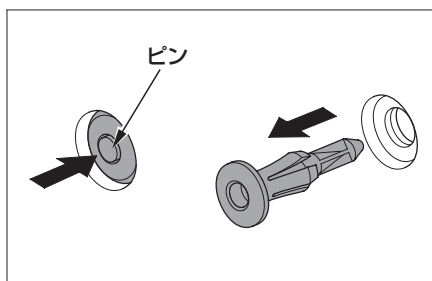
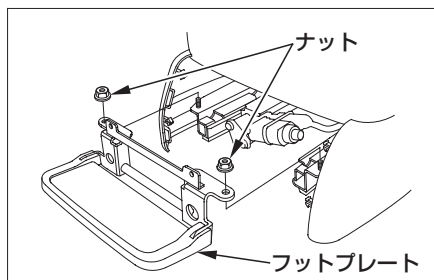
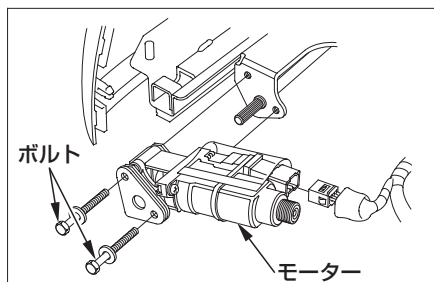
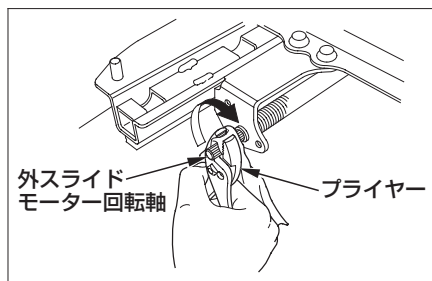
⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが外スライドの途中で動かなくなったとき

①運転席足元のヒューズを外します。

ヒューズの位置　→21ページ

②レバーを引き上げながら、背もたれを前方いっぱいに倒します。

③アームレストを前に倒します。

④クリップ（2個）を外して、回転昇降シートの前部カバーを外します。

・**クリップ脱着の仕方**

クリップ中央部のピンを“カチッ”と音がするまで軽く（2 mm程度）押し込んでクリップを引き抜きます。

⑤スパナ（12mm）でナット（２個）を外して、フットプレートを外します。

⑥スパナ（10mm）でボルト（２本）を外して、モーターを抜き取ります。

⑦外スライドモーター回転軸が回らなくなるまでプライヤーで矢印の方向へ回し、シートを車内へスライドさせます。外スライドモーター回転軸を傷つけないように、回転軸に布などを巻いてプライヤーを使用してください。

⑧運転席足元のヒューズを取り付けます。

ヒューズの位置　→21ページ

⑨回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがして非常用スイッチを確認します。

非常用スイッチ部のラベル

→25ページ

⑩シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、非常用スイッチで回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。

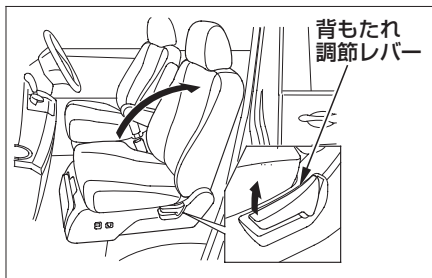
回転とスライドの操作　→26ページ

知　識

- 手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、"ピー"とブザーが鳴ります。
- シートが走行位置(格納位置)に戻ると"ピピッ"とブザーが鳴ります。

⑪レバーを引き上げながら、背もたれを起こします。

⑫なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが回転途中で動かなくなったとき

Honda販売店へご連絡ください。

●回転昇降スイッチを押してもブザーが鳴らず、シートも動かないとき

Honda販売店へご連絡ください。

⚠注意

- 回転昇降スイッチを押してもシートが動かないときは、Honda販売店で点検・修理を受けてください。なお、点検・修理が完了するまでは、回転昇降シートに座らないでください。ロックが解除されたままになっているため、走行中にシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

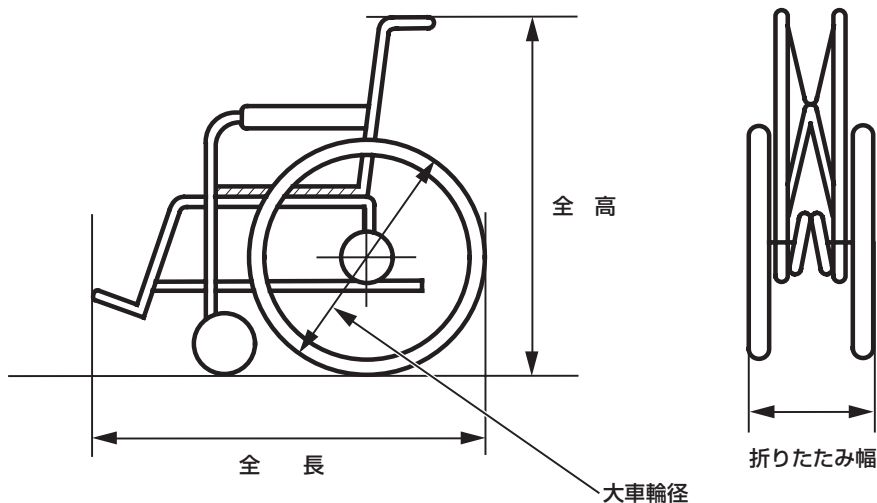
サービスデータ

サービスデータ

項　　　目	サ ー ビ ス デ ー タ
最 大 昇 降 能 力	100kg
乗 車 定 員	7人

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載のできない車いすがあります。

項目　タイプ	介護式
大車輪径	16インチ以下
全高	920mm以下
全長	920mm以下
折りたたみ幅	240mm以下
重量	20kg以下

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SYYT00
00X30-SYY-T000